

まおうたき 議会だより

平成21年

1月号

2009



議会12月定例会開会 2P

モンキードッグについて他一般質問 . . . 3~5P

広域連合議会報告 6P

No. 102

森林管理署跡地一部購入 奨学金条例一部改正 十二月定例会開かれる

十二月定例議会第一日目は、十七日に開会した。村長提出議案（事件決議四件、条例の一部改正四件、二十年度補正予算七件）計十五件と議会提出議案（委員長報告）一件の合計十六件の議案を審議、それぞれ原案どおり可決した。二百目の二十四日には、一般質問と委員長報告一件、請願・陳情三件の審議を行った。

陳情を除く主な議案は左下表のとおり。

条例の 一部改正

高等学校生徒並びに大学学生奨学金基金条例と奨学金貸与条例の全部改正・医学生修学資金貸与条例一部改正

奨学金を借りやすくするため、保証人等の条件を緩和・借入枠（人数）の拡大・貸付金額増・国家資格者確保のため償還金免除等を盛り込む内容とした。

国民健康保険条例一部

改正
産科医療保障制度の改正に伴い、出産育児一時金を現行の三十五万円から三十八万円に引き上げるもの。

主な一般会計

歳入歳出にそれぞれ三千二十四万八千円を追加補正し総額を十五億三千百五十三万九千円とした。

森林管理署跡地一部を購入
森林管理署跡地のうち道路敷約二千㎡を購入する費用として六百二十万円を計上した。



この項目については、生活基盤の確保（道路・水道・下水道敷）という点で購入の必要性は認められた上で、購入に際して近隣町村による森林管理署跡地購入の類似例を調査し、今後の交渉で経費削減に努めること、周りの跡地の利用計画も含めて報告することが、付帯意見として挙げられた。

地域活性化緊急安心実現総合対策交付金は総額九百五十万円

このうち二百八十万円を庁内の情報機器購入費（グループウェアサーバー導入）、三百五十万円を農業生産施設補修工事費（漬物加工場改修）、三百二十万円を公用車管理経費（公用車購入）として計上。

村有林の除間伐に百八十万円

二子持地区の村有林一・七九haを、県森林造成事業補助金約六十八万円とむらづくり基金繰入金約百二十二万円を用い整備する。

特別会計

補正予算

おんたけ高原簡易水道事業費補正予算では、ゲレンデ内の配水管水漏れによる電力使用料として光熱水費十五万九千円を計上。

農業集落排水事業補正予算では、野口地区のマンホールポンプ逆流防止

器具修繕のため、二十万円を計上した。

広域連合関係

木曽広域連合ふるさと市町村圏基金のうち、このほど千九十万円を取り崩し、公共サイン整備・上下流交流等の事業を行う。そのため王滝村の出

資分から、三十二万四千円の権利を放棄した。平成二十年二月の定例町村会において、木曽土木振興会の機能存続最善策として、その業務を木曽広域連合に移行することとなった。それを受け、広域連合と広域連合議会で検討を重ね、今回、広域連合の規約を変更することとなった。

- ・木曽広域連合ふるさと市町村圏基金に係る出資金の権利一部放棄
- ・木曽広域連合規約の変更
- ・長野県市町村自治振興組合規約の一部変更及び組合を組織する市町村数の減少
- ・長野県市町村総合事務組合を組織する市町村数の減少
- ・王滝村高等学校生徒並びに大学学生奨学金貸与基金条例の全部改正
- ・王滝村高等学校生徒並びに大学学生奨学金貸与条例の全部改正
- ・王滝村医学生修学資金貸与条例の一部改正
- ・王滝村国民健康保険条例の一部改正
- ・20年度一般会計補正予算（第3号）
- ・20年度特別会計国民健康保険（事業勘定）補正予算（第3号）
- ・20年度特別会計国民健康保険診療施設費補正予算（第2号）
- ・20年度特別会計村営水道事業費補正予算（第2号）
- ・20年度特別会計おんたけ高原簡易水道事業費補正予算（第3号）
- ・20年度特別会計農業集落排水事業費補正予算（第3号）

そこが知りたい

一般質問

本文は質問者の

執筆によります

モンキードッグ について 長谷川 昭

問 滝越地区においてモンキードッグが成果を上げているとの事、ここで九蔵及び野口にモンキードッグを入れた場合、追われた猿は小川、中越、上条の南部の被害にあっていないところに入るのはないか。観光客との関わりと今後の対策は。

答 猿の移動への対応は、今後県の森林税に基づく里山整備事業や国の総合対策事業、又県の野生鳥獣被害対策事業の補助事業があるので、その事業を活用する中でそれを組み合わせながら今後対応できればと思う。観光客

については現在滝越で行っているように看板で対処していきたい。村全体に事業が行き届いた時点で猿の動向調査を見る中、村で対応していきたい。

問 電気柵については、中越の広い畑、上条南部なども山田地区と同じように県の補助と村民で行うのか。

答 電気柵についてはある程度の組織を作ってもらいその組織から要望を出してもらおうような形になると思う。今年二月に国で鳥獣被害特措法が制

職員の人材育成

王滝村の将来構想について

下出 謙介

職員の人材育成について

問 村は依然として崖っ



定されそれに基づいて村も防止計画を提出している。内容は猿、猪、ツキノワグマ等で対策法としてモンキードッグ、電気柵も含まれているが、認められるかは国の判断。採択されればその事業は実施していきたい。

ぶちに立たされており、当面の課題である財政健

全化に向け必死に取組んでいるのが現状である。この状況を踏まえながら、王滝村の将来、人づくり、物づくりとして

「人間環境宣言の村」づくり

農山村専門指導員
ツアーガイド指導員

など、多義にわたることを含めた研修と将来に向けた取り組みとして人材育成を進めるべきと考え、村長の見解をお聞きしたい。

答 新しい提案をいただいた。村としても積極的且つ継続的に人材育成施策を展開して行くことが真に求められる王滝村を目指すことであると思う。今後最優先に取組んで行かなければと思っている。

問 環境問題を考える原点として、アジエンダ（今から取組む課題）について

環境づくりに向け、村民の環境意識を高めるため村長自ら率先して地球に優しい資源を創り出す。
こどもや、それに関わ

る若者が、環境を守る為の積極的な取り組みができるような環境教育の充実化を行う。

農薬などの化学物質による環境汚染から守る為の積極的な取り組み

森林を守りながら、地球環境が将来の世代に引き継ぐことができる

ように、王滝村の将来を見据えた人材育成を進めていただきたい。

答 専門員は必要である。第四次長期振興計画の位置づけでいければと思う。

王滝村の将来構想について

問 村長は行政報告の中で、後期基本計画（具体的な取り組み）自立の村づくり重点施策に基づいて着実に進めているとし

る。十年後を見据えた第四次王滝村長期振興計画について、いつ頃立ち上げ、村長はどういった村にしたいのか、いつまでに振興計画を考えているのか、お聞きしたい。

協働のむらづくり

学校支援地域本部事業について他

立花 裕美子

協働のむらづくり

問「すぐだそ応援隊」について、これまでの活動をどのよう認識してい

た。十年後を見据えた第四次王滝村長期振興計画について、いつ頃立ち上げ、村長はどういった村にしたいのか、いつまでに振興計画を考えているのか、お聞きしたい。

答 二十一年度には策定する方向で進めるが、その為には、村民の思いを的確に把握する為の動向調査の実施が必要。また現在まで進めてきた計画の客観的な評価を踏まえ進めたいと思う。

まとめ こどもの将来に希望のもてる将来構図、村民の声も十分反映させ、安心した将来が描かれるような村づくりを村長の在任期間、任期中に立ち上げ瀬戸普政策を打ち出していただきたい。

場職員)との関わり方も含めて考えを伺いたい。

答 応援隊の活動は協働の村づくりに成果を上げていけると認識している。

今後も住民の参画と協力は、村づくりの根幹として求められるものである。新たな視点や考え方も積極的に取り入れ、相談しながら今後の方向性を見出していきたい。

問 協働の取り組みは必要としながら、担当課がないというのは逆行しているように思えるがいかがか。

答 人事面では四月に向けて検討する。応援隊で出した結論に行政が協力する形をとりたい。

・学校支援地域本部事業

問 六月議会で補正予算が計上されたが、その後の進捗状況 文科省では三年間の委託事業としていたため平成二十三年以降の展望について、現時点での村長の考えと教育委員会で見据えている方向性を教えていただきたい。

答 学校と地域の連携・

支援は重要。今後の組織の発展や充実を願う中、対応していきたい。

答・教育長 十五名に実行委員を委嘱し実行委員会を開催した。調整役のコーディネーターを一名委嘱、週一回くらい学校との調整をしていた。

また県主催の説明会・研修会へ参加していた。二十三年以降も組織が充実して多くの方が学校支援に関わっていただくことを望む。教育委員会・学校・PTA・地域へ有効な施策を講じたい。

問 村民への周知方法として、PTAへの説明会実施や、文科省のDVDをCATVで放送するのはどうか。

答 PTAへの説明は実施する。DVDについては検討したい。

まとめ 登下校中の見守りという支援の一環として、スクールカーについて協力体制がとれるか検討していただきたい。また、財政が最も厳しい現時点でも村単で予算措置

しているスキー教室や総合的学習講師については、今後とも継続してほしい。



稲作りも学校支援事業の一つ

平成二十一年度予算編成

問 村を取り巻く経済情勢とシミュレーションと

の比較を踏まえての、村長の基本的な考え方を伺いたい。

答 現時点で道路特定財源を含め普通交付税等の一般財源の配分が不透明である。基本的には歳出面は村の自立基本計画等に沿った予算編成となる。事務的経費等徹底した経費削減 住民の安心安全確保、村民生活の維持、最低限の行政サービスの確保 後期基本計画・未曾広域連合計画との整合性考慮 医療社会保障制度の改正への柔軟な対応 この四点に留意して編成する。

旧営林署跡地・村の活性・学校問題・スキー場問題等について

三浦 征弘

旧営林署跡地の利用法について
問 旧営林署跡地の道路は買う予定であるが、宅地についてはどう考えているか。
答 確固たる計画がないまま購入することは村民

答 それについては反省すべき点はあったかもしれない。しかしまだ遅いものでもない。議員にも良い考えがあれば知恵を出していただきたい。

問 村の活性について
答 村に仕事があれば村は廃れていく。これは非常に難しいが何かを考えていかねばならない。今のところ考えているものはあるか。

問 企業誘致は条件的に難しい。農産物、林業等地道に進めていきたい。また、新規起業への取り組みが必要かと思う。
答 これから一学年二人や三人では関係父兄や祖父母たちの心配は当然である。もし当人達全員が他町村への通学を望んだ場合、村はどのような考えを示すか。

問 小中学校は村に設置義務があり、村内在住者には村教育委員会が指定校として指定している。そのため、村として他町村への通学は考えていない。

スキー場問題について
問 ゴンドラ事故の原因は何だったか。
答 ゴムライナーというゴムの部品の劣化等が主因である。

問 広報等で公表してほしい。今度同じように止まった場合最短時間で救出できる予想か。
答 発生状況がその時々

の要因、気象状況で違うので一概に言えない。
問 今後大きな事故や問題が起こった場合、村の交渉相手は加森観光株式会社かそれともおんたけマネジメント株式会社かそれともこの二社か。
答 加森観光株式会社である。

防犯灯・街灯について
村職員給与の削減について
林 冬樹

一、防犯灯・街灯について

問 冬の寒さをひしひしと感じる中、財政再建の明るさがもどりつつある王滝村の道路照明は明るくなく暗い。観光事業に

関わる街灯を電気代節減のため、ほぼ一個置きに消してあり人家の近くでも暗い箇所が多くなった。元々ある防犯灯のある所に街灯があつたり全体でバランスの取れた道路照明とならないか。また防犯灯の定額電灯の料金も教えていただきたい。

産業課長答 オレンジ色の街灯は百m間隔で設置

平成十七年度の村づくり委員会の提言にて経費節減のため防犯灯を兼ねる所以外は半分程度に減らしているが、再度調査して不具合のあるところは対応していきたい。電気料金はオレンジ色の街灯が一箇所・月額四百四十三円、防犯灯は平均で高原地区六百円、村内は三百七円である。

問 街灯の線を撤去した所もあるが、区長の行政

連絡会にてしばらく我慢してくれとの連絡があつた事と、防犯灯等の電球切れについて村で対応する話も聞いたが、どのようになっているのか。

総務課長答 防犯灯は総務課の担当で、区長から高齢者も多い地区より電球切れの対応を村にてお願いしたいとの要望があり、新年の行政連絡会までに役場内部で検討し、お答えしたい。

問 産業課総務課の担当者にてあらためて点検対応していただけるようなので質問を終わる。

二、村職員給与の削減はいつまで

問 この秋に行われた地区懇談会では、村の借金を優先して返済することの説明が中心で、その中で現在の役場職員は五年で一年分は、ただ働きとの説明があり、その給与減額が多であることが非常にわかりやすい言葉と感じた。村の借金返済途中でも給与減額を少しずつでも減らし、元々の給与に戻して行く構想

があればお聞かせいただきたい。

答 削減率は十八年度二十五%、十九年度二十%、二十年度実質十六%台に改善している。村は平成二十一年度後半には早期健全化団体に指定され、県のチェックを受けながらとなり、前段として二十一年度当初予算編成では詳細な積算根拠が要求

新議長に田中氏選任

一月臨時会

四億八百万円余を繰上償還

一月二十九日、第一回一月村議会臨時会が開かれ、議長選挙が行われた。開票の結果、田中秀夫氏が五票（有効票五票、無効票一票）を得て、新議長に選出された。

併せて、木曾広域連合議会議員の選挙も行われ指名により田中新議長が選出された。

平成二十年度一般会計補正予算では、村議会議員補欠選挙に伴う報酬と選挙費等百三十八万円が

され、人件費削減中の平成十九年度決算人件費の計上収支比率は約二十四%となり、職員数の適正化問題、給与削減率の増減のしかたが早期健全化団体からの脱却を大きく左右する。難局を乗り越える方策の一つとして労使間で話し合つて決定して行く考えである。

追加された。さらに観光施設事業会計補助金へ一億八百八十七万六千円を繰り入れた。これらの財源には、財政調整基金を取り崩して充てる。

前記の観光施設事業会計補助金を特別会計公営企業観光施設事業会計に繰り入れ、さらに企業債二億円を借換し、合わせ

た四億八百八十七万六千円を繰上償還することとした。返済額は実質的には借換債分を除く二億八

百八十七万六千円。この二議案は賛成四、反対一で可決した。

繰上償還により、二十一年度決算時の実質公債費比率は二十四・四%となる見込みである。地方自治体の財政の健全化に関する法律による早期健全化基準（実質公債費比率二十五%以上）を下回ることになる。

新議長挨拶



変革の志半ばで、残念ながら不慮の事故に倒れた稗田薫前議長の後任として、このたび議長に選任されました。

村財政に重くのしかかったスキ場債務問題は、住民の皆さんの大変な忍耐と、村の将来を見捨て

ない強い郷土愛の下でようやく一筋の光明が見えてきました。

これからは財政再建後を見つめて、「新生王滝村のための次なるステップは何か」を住民自らが考え、今後の村づくりの方向を見出しながら次世代につなげていく、そのようなことが大切かと思えます。

世の中が未曾有の大不況に戦々恐々としている昨今ですが、人が幸せに生きていける有用な資源や素材はまだこの村のいたる所に眠っているような気がします。一度は失いかけた自信と誇りを取り戻し、活気溢れた明るい地域をつくることは夢ではないと思います。

現議会の任期は残すところわずかですが、このようなことを念頭に活動して参りたいと思えます。議会運営には住民の皆様のご更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

広域連合議会報告

二十年度補正予算等

四議案を可決承認

平成二十年木曾広域連合第四回定例会は、十一月二十一日に開会。上程された四議案をすべて原案どおり可決承認し、福祉環境常任委員会からの報告を受けた。また、木祖村の奥原常議員が一般質問を行い、定例会終了後に全員協議会が開催された。

定例会で可決した議案は次のとおり。

木曾地域高度情報整備事業に関わる周辺整備事業伝送路補強工事（ケーブルテレビ整備分）請負契約の締結

平成二十年度木曾広域連合一般会計補正予算
三百十五万五千円を追加し、二十八億三千九百七十一万八千円とした。

委員会報告

平成二十年度木曾寮特別会計補正予算
木曾広域連合議会規則の一部改正

十一月定例議会が十一月十四日、開催された。以下の五議案が上程されいづれも原案どおり可決承認された。

松塩筑木曾老人福祉施設組合

定例議会報告

平成十九年度一般会計歳入歳出決算認定
歳入四十三億七千六百二十三万円、歳入歳出差引額は、三千八百八十八万七千円の黒字決算で、前年度比歳入で一・二%増、歳出も〇・九%増となった。決算審査意見書では、平成十七年十月の

介護報酬改正より今後サービス収入の増加が見込めなくなる中、利用率向上やサービス時間延長による収入の確保が図られて

いる。反面、人件費比率が全国平均より高い、利用者への居住環境の向上、老朽化施設の維持補修や改築に向けた財源確保が

福祉環境常任委員会

県立病院の独立行政法人への移行について

地方独立行政法人は、公共上確実に実施する必要がある事業に関し、県の一定の関与の元で創意工夫のできる経営、弾力的な組織・人事・財務運営、明確な目標設定・評価、積極的な情報公開をするという制度である。

県立木曾病院の療養病床の再編について

木曾病院の療養病床は、医療療養病床二十四床と介護療養病床二十四床あわせて四十八床である。費を補正したものの。

平成十九年度一般会計補正予算（専決）
物損事故による損害賠償の額の決定（専決）

閉会后に開催された全員協議会では、平成二十一年度実施計画 第四期介護保険実施計画に向けた取り組み状況 地デジテレビ導入関係 人事院勧告について等、四点について説明があった。

平成二十四年三月末までは維持するが、その後の転換については未定である。

木曾広域連合第四期介護保険事業計画概要について

今後、介護報酬の改定率が国から示され、給付費等が固まり、介護保険料が確定する。

南北クリーンセンター統合協議に関わる合意事項について

平成二十二年度に南北クリーンセンターが統合され、北部クリーンセンターで木曾郡内のごみ処理を行なう。現在、南北町村で異なる手数料や収集体制等の整合を図るため、各町村と協議を進めている。

全員協議会

木曾広域連合規約の変更について

土木振興会業務について、平成二十一年二月定例会にて、木曾広域連合業務として規約変更が提案される。

木曾広域連合第四期介護保険事業計画概要について

三年に一度行われる保険料見直しは平成二十一年度実施される。保険料引き上げの方向が進められているが、大幅な増額とならないよう、国庫負担による被保険者の負担軽減について検討中である。

中南信消防広域化協議会設立等について

奥原消防長より、協議会設立準備会について説明があった。協議会・連合会長会・小委員会・幹事会等を開き検討中とのこと。

一般質問

木祖村の奥原常議員が「クリーンセンター統合に関わる課題」「国道十九号の交通安全対策」について質問した。

次の三項目について説明を受けた。

元気ネットワーク

今回の「元気ネットワーク」は、崩越の滝良訓さんに登場いただいた。

元気な村に！

問 王滝村の職員になられて何年ですか。

答 五年目です。

問 水道の点検等、大変な仕事ですが、苦勞すること、やりがいを感じるところはどこですか。

答 夜中でも休日でも漏水などあれば出勤しなければならぬこと、冬の冷たさがつらいところです。ライフラインの一つとしてとても重要

な仕事を任せてもらっていると感じてやっています。村民の方と話ができる時もやりがいを感じます。

問 お子さんは何才になられましたか。子どもの成長について感じることは？

答 もうすぐ一才四ヶ月です。子どもの成長は早いなあと感じます。子どもと一緒に親としても日々

の活発な民主主義を目にしたのは、議会定例会二日目に傍聴させていたいた時だった。そこで、民主主義の精神において、

勉強で、たくさんのお話を学ばせてもらっています。



滝 良訓さん

問 子育て世代として不安や心配はありませんか。

答 子育てをしながらでも安心して働ける環境があれば良いと思います。例えば職場に託児所がある、育児休暇などがしっかり取れるなど。自分達

が働いている間、祖父母が子どもを預かってくれるような場合は良いと思います。自分達だけで全部やらなければならぬ、共働きでないと生活していけないという人はたくさんいると思います。そういう人達が安心して働ける環境は、まだまだ少ないと思います。村の中に子どもが少ないということが不安ですね。

問 これから先、どんな村になってほしいと思いますか。

答 今、村にいる子ども達が将来、村に帰ってきていたいと思える村にしたい。

インタビューを終えて

高校生の頃を知っている担当編集委員は、立派なお父さんになられた滝さんに、思わず目頭が熱くなった。「大人も子どもももっともつと繋がって、元気な村にしたいと同じく思った。」

次回予告

今回は滝さんからご紹介いただいた東区の下出哲朗さんです。

村議会を傍聴して

エリック カニングハム

王滝の森林のような自然環境の良さは、生物の多様性、相互作用、それから協力が不可欠だ。同じように、民主主義を維持するためには、「意見、考え」の多様性と人々の間に相互作用と協力がなければならぬ。しかし、環境と違い、自然発生しない民主主義は、ある共同体の人々によって創られ、維持され、守られるべきものでなければならぬ。要するに、活発な

民主主義を維持するためには、人々の努力が必要で、我々人間にその責任があるという訳である。王滝に滞在したわずか数ヶ月の間に、大勢の村民の方々が、様々な方法を、この責任を果たしている様子を目にする事ができた。例えば、会議に出席する事、講義を開く事、イベントに参加する事などがある。最近、王滝村でこ

様々な声や意見が交換され、様々な問題が討論された。私は村の議員、職員の方々の王滝への、またその周りへの素晴らしい環境作りへの努力を称

長い間話した事は一度きりだったにも関わらず、議長の方々の王滝に対する深い愛や村のために努力を惜しまない献身的かつ意欲的なその姿勢は、私に深

議会日誌

9月

28日 木曽地域高度情報化整備事業竣工式

10月

3日 名古屋市民御岳休暇村あり方検討会傍聴

7日 議会だより編集特別委員会

15日 議会だより編集特別委員会

27日 例月出納検査(9月分)

" 議会だより編集特別委員会

28日 中部森林管理局陳情(長野市)

29日 県知事陳情・県議会議長陳情・町村議会議長会第7回定期総会(長野市)

" 王滝村観光講演会・懇談会

11月

4日 議会だより101号発行

6日 飯田国道事務所・中部地方整備局陳情(飯田市・名古屋市)

14日 松塩築木曾老人福祉施設組合議会11月定例会(塩尻市)

18日 関東地方整備局・国土交通省・財務省陳情

19日 第52回町村議会議長全国大会・後藤代議士との懇談会(東京都)

20日 愛知県水道南部・北部ブロック協議会合同水源地表敬訪問

21日 木曽広域連合議会第4回定例会(木曽町)

28日 例月出納検査(10月分)

12月

3日 木曽町商工会と行政・議会との懇談会

4日 議会運営委員会

5日 スキー場安全祈願祭

17日 12月定例議会開会・総務文教常任委員会

24日 12月定例議会(2日目)・議会勉強会

25日 例月出納検査(11月分)

1月

8日 議会だより編集特別委員会

" 消防団出初式

20日 議会運営委員会

26日 例月出納検査(12月分)

29日 1月王滝村議会臨時会

請願と陳情

十二月定例会で審議された請願・陳情等の採択・不採択状況は次のとおりです。

「介護労働者の処遇改善を求める陳情書」(採択)

「介護保険制度の抜本的改善を求める陳情書」(採択)

以上、二件の案件を採択し、関係機関へ意見書を提出した。

総務文教常任委員会に付託、審議された案件について本会議においての採択・不採択状況は次のとおりです。
「共済法制定を求める陳情書」(採択)

「社会保険料に人头割はふさわしくない介護保険を所得比例中心に変更することを求める陳情書」(不採択)

「社会保険料に人头割はふさわしくない所得割重視の国保税(料)を求める陳情書(不採択)」
以上、一件の案件を採択し、関係機関へ意見書を提出した。

稗田薫議長逝去



村議会議長の稗田薫氏が、昨年十二月二十九日にお亡くなりになりました。

村議会議長として三年三ヶ月、村づくりにご尽力され、木曽郡町村議長会副会長としての責務も果たされました。
議会として哀悼の意を捧げご冥福をお祈りします。
(享年六十一才)

編集後記

○子育てに関する研修会で、子ども達の体験不足を示す調査結果を目にした。平成十年度と十七年度に同じ質問事項で自然体験活動の頻度を比較したものだ。

○「チョウやトンボなどの昆虫をつかまえたこと」がないと回答した子どもが十九%から三十五%に、「太陽が昇るところや沈むところを見たこと」がないと回答した子どもが三十四%から四十三%に、「夜空いつぱいに輝く星をゆっくり見たこと」がないと回答した子どもが二十二%から三十五%にいずれも増加。

○子ども達の成長にとって必要不可欠な体験を通じた学びの機会が失われている。私たち大人は、それらを補う努力をしなければならぬ。子ども達に自由に遊ぶことのできる時間を保証し、家庭や地域で意図的・計画的に多様な体験の機会や場を提供する必要がある。